

長沼さん一家の家計簿 (予算編)

一般会計の予算額を一般家庭の年収に例えて作成しました。町の財政と一般家庭では内容が異なるため単純な比較はできませんが、身近な項目に置き換えていますので、参考としてご覧ください。

【収入】令和5年度一般会計の歳入予算を置き換えたもの

項目	金額 (予算額)	増減率	予算上の区分
給与収入	489万円 (48億8,892万円)	3.6%	
基本給	130万円 (12億9,847万4千円)	4.3%	町税
手当	359万円 (35億9,044万6千円)	3.3%	地方交付税、地方譲与税など
パート収入	54万円 (5億4,523万1千円)	1.5%	使用料及び手数料、諸収入など
親からの援助	158万円 (15億8,130万4千円)	6.7%	国庫支出金、道支出金
貯金の取崩	47万円 (4億6,774万5千円)	1.9%	繰入金
ローンの借入	77万円 (7億7,080万円)	17.4%	町債
合計	825万円 (82億5,400万円)	5.1%	

予算の特徴

支出では、林業専用道整備事業や東9線道路新設事業の完了などによる減額がありますが、消防長沼支署庁舎改修事業や橋梁架換事業(西1線南9号橋及び東1線北16号橋等)などによる増額により、前年度を上回る予算額となりました。

収入では、地方交付税の見通しが厳しいこともあり、年度当初の財源不足を基金(貯金)の取り崩しで補いました。

【支出】令和5年度一般会計の歳出(性質別)予算を置き換えたもの

項目	金額 (予算額)	増減率	予算上の区分(性質別)
食費	117万円 (11億7,420万7千円)	1.2%	人件費
医療費・学費	56万円 (5億5,984万5千円)	▲0.8%	扶助費(障害者医療給付費、児童手当など)
光熱水費、税金、町内会費など	216万円 (21億6,592万円)	▲6.2%	物件費・補助費など(施設管理費、各種補助金など)
子どもへの仕送り、保険料など	194万円 (19億3,724万4千円)	7.6%	繰出金・分賦金(国保、病院、消防など)
家のリフォーム	129万円 (12億8,958万5千円)	43.6%	普通建設事業費(道路整備、河川改修など)
貯金の積立	16万円 (1億6,080万5千円)	▲0.1%	積立金
ローンの返済	97万円 (9億6,639万4千円)	0.4%	公債費(町債の元金償還)
合計	825万円 (82億5,400万円)	5.1%	

※金額は1,000分の1で表示

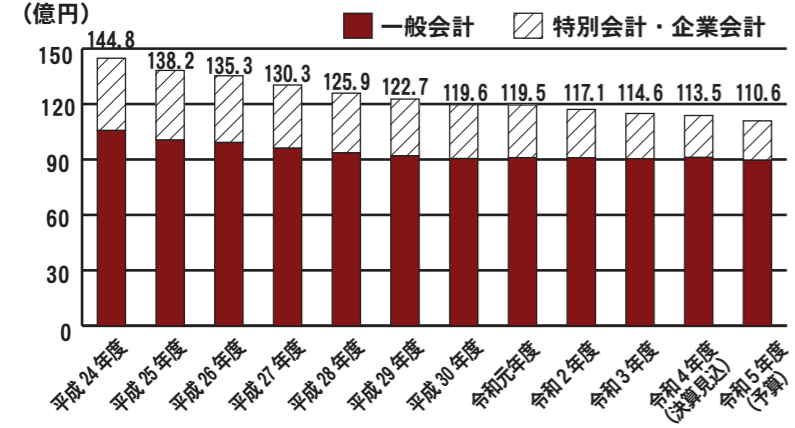
■各会計別予算額

会計区分	令和5年度当初	令和4年度当初	増減率	
一般会計	82億5,400万円	78億5,600万円	5.1%	
特別会計	国民健康保険	15億6,040万9千円	15億6,983万円	▲0.6%
	後期高齢者介護保険	3億9,787万1千円	4億1,595万8千円	▲4.3%
	老健施設	14億6,126万4千円	15億2,757万6千円	▲4.3%
	下水道事業	3億3,500万円	3億3,240万円	0.8%
	集落排水事業	4億7,900万2千円	4億2,085万9千円	13.8%
	小計	1億5,385万5千円	1億6,801万4千円	▲8.4%
企業会計	43億8,740万1千円	44億3,463万7千円	▲1.1%	
町立長沼病院	10億3,248万1千円	11億265万1千円	▲6.4%	
合計	136億7,388万2千円	133億9,328万8千円	2.1%	

その他会計の特徴

後期高齢者医療保険特別会計は後期高齢者医療広域連合納付金の減、介護保険特別会計は給付費の減、下水道事業特別会計は浄化センター更新事業費の増、集落排水事業特別会計では南長沼浄化センター設備更新事業費の減となりました。また、町立長沼病院事業会計は給与費及び医療機器購入経費などが減となりました。

■町債残高の状況



借金の返済状況

今年度は特別会計・企業会計を含めて約11億9千万円の償還(元金)を行います。主な借入として橋梁架換事業(西1線南9号橋及び東1線北16号橋など)や道央廃棄物処理組合焼却施設建設工事負担金などがありますが、残高は前年度より約2億9千万円の減額となる見込みです。

令和5年度 予算

一般会計の当初予算額は、林業専用道整備事業や東9線道路新設事業の完了などによる減額がありますが、消防長沼支署庁舎改修事業や橋梁架換事業(西1線南9号橋及び東1線北16号橋等)などによる増額により、前年度を上回る予算額となりました。

令和5年度では、小中一貫教育の推進のため、新校舎整備事業を実施し、新校舎建設に向けて、基本設計、調査検討などを行います。また、新たな事業として、関係人口の創出・拡大などを目的に、チームビルディング型企業研修ワークショップの実証への取り組みや、引き続き、高校卒業までの医療費の無償化を実施するなど、厳しい財政状況の中でも、本町独自の「ながめま創生」による「人口の安定化」対策を積極的に行い、いつまでも安心して住み続けられる豊かなまちづくりを目指すために、新規施策を含めた各種諸事業に予算を配分しました。その一部については、後のページで紹介いたします。

一般会計	82億5,400万円	(前年度対比 5.1%増)
特別会計	43億8,740万1千円	(前年度対比 1.1%減)
公営企業会計	10億3,248万1千円	(前年度対比 6.4%減)
全会計	136億7,388万2千円	(前年度対比 2.1%増)

一般会計

町民1人あたりの予算	81万3,843円	1世帯あたりの予算	168万2,087円
※令和5年1月31日現在		人口 10,142人 世帯 4,907世帯	

<1人あたりの予算の内訳>

産業振興などに 124,786円	高齢者・児童福祉などに 160,014円	ごみ処理や予防接種などに 90,296円
学校や図書館・体育施設などに 61,542円	消防や救急活動などに 40,504円	道路・河川・公園の整備などに 118,534円
庁舎維持・情報化推進などに 111,887円	借入金の返済に 95,286円	その他(議会費ほか) 10,994円